

たけた 市議会だより

No.13 発行 平成20年8月1日

編集 ■ 市議会だより編集委員会 ☎0974-63-4813 印刷 ■ えとう印刷



「おしゃべりサロン ひまわり会」の皆さん



「竹田市養護老人ホーム南山荘」の皆さん（お誕生日会の様子）

「タバコ増税に
ハンターイ!!」

▼東京永田町では、超党派の「タバコと健康を考える議員連盟」ができ、タバコの値上げによる税収増を画策していると聞く。

年々肩身が狭くなっていく喫煙者（当方ヘビースモーカー）にとつては、「ホウ、そうかいな」ではすまされない問題である。

▼これまで知らなかったが、1箱300円のタバコに189円の税金がかかっているという。

ザーツと頭の中で計算してみた。これまで40年間、タバコ税だけで数百万円を納税している勘定になる。私も高額納税者だったことを改めて自覚する。

▼先日、我が郷土紙の論説欄にこの「タバコ問題」が詳しく論じられていた。その内容は総体的に議論に期待する論調。せめて「タバコ税問題」の論説だけは私が知っている喫煙派のあの支局長に書いて欲しかった。

▼平成19年度決算ベースでの竹田市のタバコ税収は1億4千185万7千円が見込まれる。タバコ生産農家も懸命に努力をされている。言われるままにタスポカードも作つたのに、タバコ1箱1,000円なんてとんでもない話だ。（断固反対）

（編集委員 日小田秀之）

ケーブルネットワーク整備事業 予算案、激論の末 可決

平成20年6月議会

予算特別委員会委員長 日小田 秀之



▼このケーブルネットワーク事業に関しては、市民の皆さんも非常に関心が高く、今議会で185人(本会議平均傍聴者数36・4人/1日当り)もの市民が連日傍聴にいられたことでも裏付けられた。

▼市民の皆さんが最も注目し、議員の間でも賛否両論の意見が激しく飛び交った、市の一大事業「ケーブルネットワーク整備事業」の予算案が一般会計補正予算(第1号)として今議会に提案され起立採決の結果、賛成多数で可決した。

▼予算特別委員会(委員は全議員で構成)第1日目の審査を経て、さらに審査をするため所管の予算特別委員会総務分科会(総務常任委員6人で構成)に付託。

総務分科会では、賛成少数で原案を否決したが、予算特別委員会第2日目では起立採決の結果、逆に賛成多数で可決し、本会議の起立採決を経て最終的に可決したのが詳しい経緯である。



予算特別委員会

▼当然のことながら、議員も同予算案及び関連議案に対して

は、予算特別委員会や本会議でそれぞれ賛成討論・反対討論を活発に展開(討論発言者9人)し、本会議では議案の修正案(提案者5人)による修正動議が提出

【採決の結果否決】されるなど、全議員が慎重且つ活発に審査を行い、前述の結果となった次第である。

▼ケーブルネットワーク事業に関する予算案並びに関連議案は、議会制民主主義のルールに則り可決したもの、いずれも起立採決で僅差の可決であり、同事業を今後具体的に実施していく上で、執行部は市民(加入受益者)に対し、ただ単に加入推進を行なうだけでなく、事前に、分かりやすく、丁寧に弱者の目線に立った事業実施を心がけるよう切望してやまない。言うまでもないが、お互い議員も同事業を成功させるべく最大限の努力をすることも当然の責務である。

▼このほかの予算としては、いわゆるふるさと納税制度に係る「ふるさと竹田応援基金積立金」の創設予算など補正額(歳入・歳出)14億246万6千円の増額予算を原案どおり可決した。



第2回定例会

《主な議案の審査結果》

- ▽専決処分事項「指定管理者の指定に関する件」について 可 承認
- ▽専決処分事項「竹田市税条例の一部改正」について 可 承認
- ▽平成20年度竹田市一般会計補正予算(第1号)について 可 承認
- ▽竹田市ケーブルネットワーク施設条例の制定について 可 承認
- ▽竹田市地域農業活動拠点施設湯の郷ふれあい館の設置及び管理に関する条例の制定について 可 承認
- ▽竹田市税条例の一部改正について 可 承認
- ▽竹田市国民健康保険条例の一部改正について 可 承認
- ▽竹田市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について 可 承認
- ▽竹田市大野川上流域地域農業開発事業資金融資補償条例等の一部改正について 可 承認
- ▽竹田市奨学金交付条例の一部改正について 可 承認
- ▽竹田市体育施設条例の一部改正について 可 承認
- ▽過疎地域自立促進計画の変更について 可 承認
- ▽字の区域の変更について 可 承認
- ▽指定管理者の指定に関する件について 可 承認
- ▽動産の買入れについて 可 承認
- ▽竹田市議会議員定数条例の制定について 可 承認
- ▽議案第64号に対する修正案 可 承認

《請願・陳情の審査結果》

- ▽米価の安定対策を求める請願 採 択
- ▽竹田市中心市街地活性化基本計画策定委員会の早期立ち上げと、竹田市中心市街地活性化基本計画の早期策定・実施を願う請願 採 択

《継続審査中の請願・陳情》

- ▽竹田市中心市街地活性化基本計画(豊岡橋・本町間)の道路拡幅計画の見直しに関する陳情 取り下げ
- ▽竹田市計画の「ケーブルテレビ事業実施(案)」に対する陳情 承認

《意見書の審査結果》

- ▽米価の安定対策を求める意見書 可 決
- ▽森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書 可 決

一般質問

平成20年第2回定例会は、6月6日から6月24日までの19日間の日程で開かれました。6月11日、12日の2日間、10人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は議員本人が執筆しています。



吉竹 悟 議員

農業政策について

吉竹 原油価格高騰の影響が、畜産をはじめとする農業や商工業にも危機的な影響を与えている。所得向上を目指すという政策が見えない。今後の方針は。

農林畜産課長 市の農林業産出額目標を200億円とした。現在5年連続県下1位で九州21位、肉用牛34億5千万、米33億5千万、豚30億2千万である。しかし、価格低迷で厳しい環境である。竹田産品の売り込み企画を立ち上げ、県外在住の市出身者や姉妹都市に売り込む。今後、農作業の効率化や安心安全な栽培方法の統一を図る。

後期高齢者医療制度について

吉竹 毎日の報道通り全く評判の悪い制度だが、市内では混乱はないか。周知はできたか。



「後期高齢者医療制度」の説明会

1、650人の参加があった。本年15回の開催をした。今後も相談等に応じていく。

CATV事業について

吉竹 この事業には、市民の負担と一般財源の繰出しがある。今後の財政への影響と市民サービス向上策が見えない。加入率70%で約1、600万円の不足が生じ、6割・5割となれば更に不足がある。他事業への影響が懸念されると同時に起債の償還も不安がある。市民へのサービスは向上するのか？

市長 「今日の決断は後世の判断」、成す道を苦渋の決断であった。都市との格差は致命的でありこの事業は地域格差のないサービスができる。当然他の事業へのしわ寄せは甘受願う。市の明日がどうあれば良いのか検討願う。



加藤正義 議員

シイタケ栽培の産地強化にどう支援するのか

加藤 遊休化した人工ほだ場・乾燥機など実態調査をし、活用を図つたらいかか。



駒打ち体験の様子

加藤 乾椎茸の市場価格は、価格低迷を脱し好調の見通しだ。県一の産地であり生産量の拡大が課題だが、高齢化と後継者不足にどう対応するのか。

農林畜産課長 ハウス・人工ほだ場・散水施設・簡易作業路の施設・林内作業車の助成など、省力化や低コスト化への支援をしていく。

加藤 合併後の生産振興会の一本土化の立ち上げと支援は。

農林畜産課長 4地区で総会がもたれ、近く設立総会を開催の予定。自立して運営できるまで側面的な支援を行う。

農林畜産課長 県からも調査依頼があり、座談会などで実態調査し有効活用を図りたい。

加藤 共同作業や駒打ち体験などの推進は。

農林畜産課長 組織される生産振興会と連絡調整し、できることから推進したい。

加藤 増産の機運を高めるためにも、種駒助成の引き上げを。

農林畜産課長 県事業の廃止で現在4市のみ。後継者・新規参入者対策を重視し助成したい。

加藤 森林の手入れもなされ、環境保全・自然災害も防ぐ。県一の産地に鑑み、相応しい助成を。

新中尾トンネル開通後の南部地区の開発・活性化は

待望のトンネルが来春開通し、日々の往来と今後の展望が開ける。

○祖峰中跡地などの企業誘致の現状は。焼酎製造業などは。

○少子高齢化が著しい。中山間地に若者住宅の分散整備は。

○九州GGCのモヤシの原材料の緑豆を市内で栽培してはどうか。

○河宇田湧水の「水汲み場」に屋根の設置は。など質問した。



大塚哲生 議員

いじめ問題について

大塚 現在の事態は。

学校教育指導室長 6月現在、小学校1件、中学校6件、計7件の報告を受けている。その内5件は解消しており、2件のみ指導中である。

大塚 ネット上でのいじめの実態把握は。

学校教育指導室長 インターネット上での「学校裏サイト」によるいじめが問題になっているが、竹田市では裏サイトの存在は確認されていない。しかし、昨年度市内の中学校で特定のグループ間で立ち上げた掲示板内で他の生徒の悪口を書き込んでいた事実が明らかになった。すぐに個別指導を行うと共に、全校で携帯電話やインターネット利用に係る問題点や危険性について指導した。保護者にも学校通信や学級PTAで事実を告げると共に家庭での使用について啓発を行った。子どものちよつとした変化を見逃さないこと。専門機関の監視を強化してもらうこと等により、事実確認の把握に努

め、早期発見、早期解決を図る。

携帯電話の所持について

大塚 携帯電話の所持について基本的な考えは。

学校教育指導室長 竹田市内の携帯電話所持率は、小学生4%、中学生が約16%である。



携帯電話の所持による様々な問題点が・・・

教育委員会としては、携帯電話の購入、所持は、保護者の責任において行うものであり、一律に禁止するといった措置は考えていない。しかし所持による様々な問題点や危険性について子どもへの指導と保護者への啓発を行う。今後購入した場合の措置として、有害情報をシャットアウトする、フィルタリングサービス等を是非導入するよう

竹田市PTA連合会と連携し、保護者への啓発活動に取り組み。



和田幸生 議員

企業誘致について

和田 竹田市は企業が少なく若者の働く場所もなく生産性も向上しない。

そこで企業の力を借り活性化を図るべきだ。

まず市内企業の状況は。

企画情報課長 従業員数4人以上の事業所47社で845人、製造出荷額93億5千万。これまでに企業誘致を12社行ったが、2社が経営不振で撤退している。

和田 企業誘致対策はどうか。

市長 誘致の補助制度は県下で最も良いと自負している。これまでも2社と交渉をしたが輸送コストの問題で成立しなかった。今後は中九州横断道路の早期完成を願っている。

人口問題について

和田 中九州横断道路は、大野

町までの開通で人の流れが変わってきている。竹田まで開通すればさらに変わる。特に大分かなり通勤圏となる。また下竹田は大分に近くなっており、思いきった対策の住宅誘致はどうか。

建設課長 下竹田小学校跡地に住宅設計等委託費を計上しており、今後の住宅誘致につながるかと考える。



下竹田小学校跡地

和田 熱中間集まれ等のテレビ番組もあるように、趣味に生きがいを持つ人が多い現在、この熱中間間による大会等を竹田市で実施できるよう考えられないか。

企画情報課長 趣味的に同じ目

的を持つ人での地域おこしの環境づくりとなる。

今後の施策に取り組みたい。

農政について

和田 これからの農業は新たな方向を考える時期と思うが、農業指導員制度は考えられないか。

農林畜産課長 本市は農業と観光、主は農業で予算も18億を越えている。指導については県、農協と市が協議して進めていきたい。



荒巻文夫 議員

職員懲戒等審査委員会の重みは

荒巻 市営住宅の件で昨年度、懲戒等審査委員会より訓告を受けた職員が、一年も経たないのに昇任をしているが、降任の間違ひではないのか。

昇任の理由と、昇任は誰が決めたのか。

真面目に仕事している職員がやる気をなくするのではないか。

懲戒等審査委員会のメンバーは。



「そうそうの丘」跡地の利用は・・・

総務企画部長 副市長、総務企画部長、市民福祉部長、産業建設部長、教育次長、職員組合代表2名、計7名。

荒巻 民間を一人も入れない片寄った判断になると思う。

消防長 職員の年齢、階級、資格、適性を考慮して、消防長が決めた。消防本部にも、5名のメンバーで、懲戒等審査委員会がある。

子育て支援について

荒巻 竹田市は、子ども達が、広い場所で、遊び回る児童公園がない。そうそうの丘は、国からの規制もなくなっているが、この跡地の利用をどのように考えているか。

商工観光課長 委員会からも要望が出されているので、広い視점에立ち考えていきたい。

ケーブル推進について

荒巻 一次産業の農林業も燃料高騰ですべての物が値上がりして生活ができないようになってきている中、ケーブルが活性化になるのか。70%加入で1、600万円一般財源から出す。50%加入の対策はあるのか。

企画情報課長 都市と地方、市内の地域差をなくし企業誘致をする。

市長 生活保護者には、全額免除、身体一級及び二級、知的A判定、精神一級の障害者の人達。80才以上の一人暮らしで市民税非課税の方は1/3の減額の支援。

荒巻 生活保護世帯の人達よりも低い国民年金受給者の対応は。

総務企画部長 今提案している軽減措置にそれらを含めた場合は、さらに一般財源を持つていくということになる。



井 英昭 議員

歴史・文化の伝承について

井 民話とはその地域に往む人々が伝えたいとの心が込められた共通の記憶である。郷土愛を育むため合併した竹田地域の民話集を発行してはどうか。

歴史資料館長 著作権などの問題は残るが、教育委員会として既存の民話集の復刻や再発行が可能か検討したい。

井 広瀬中佐が準主役級となるNHKドラマ「坂の上の雲」の放映にあたって市の対応は。

商工観光課長 2009年から3年間全13回の放送予定。来年度の竹田ロケに対しても全面的に支援したい。生誕の地などの環境整備も関係者と検討していく。知事からも応援いただく。

井 「歴史まちづくり法」が成立した。町並みの修景や電柱電線の地中化の支援が受けられるが、竹田市は申請するか。

産業建設部長 現在、「文化財総合的把握モデル事業」に応募している。選ばれれば全国で三箇所モデルになるのでこちらから取り組んでいきたい。

久住高原の景観を守るため、協力金制度を設けてはどうか

井 年間200万人ともいわれる観光客が久住高原を訪れているが、多くは雄大な草原景観が魅力となりひきつけている。野焼きの補助や環境保全を目

的に、受益者負担の考え方のもと、マラソン練習コースと公衆トイレに協力金箱を設置できないか。



久住高原（マラソン練習コース）

久住総合支所長 マラソン練習コースはランナーと一般観光客併せて2万人程度が利用していると思われる。これまで使用料は徴収していなかったが、条例を改正して全ての利用者から使用料を徴収するのは困難であると考え。従って徴収義務のない自発的な協力金をいただき、維持管理や環境保全に活用する方向で、今後は関係機関と協議していく。



渡辺龍太郎 議員

中心市街地活性化について

渡辺 優先的に取り組む事業と認識しているが、市として取り組む気持ちはあるのか。



『まちづくり会議』の様子

産業建設部長 現在ある「まちづくり会議」を、まちづくり協議会に発展させて中心市街地活性化の事が協議されていけば良い。協議会から市の方に、中心市街地の活性化を提案として出す事も含めて検討できればと考えている。

ケーブルネットワーク
事業について

渡辺 これまで議会で多くの議員が意見や提案を言ってきた。市民の中にはまだまだ沢山の人が不安を持っている。議会を軽視し、民意を無視した事業から良い結果は生まれない。民意を問う必要があるのではないかと。

市長 防災無線の代替、情報基盤の整備、デジタル対策この3つの問題を解決するには、この段階でケーブルネットワーク事業が最適である。総務省が最後までテレビが見えるようにすると言うが、新聞では個人がすることとしている記事があった。

総務省が、本当に最後までやると思うか。決してそんな事はない。結局最後は行政(竹田市)がやらなければならぬ。また、新しい技術ができていながら先送りしたかどうかと言われるが、ある面では先送りする方がおかしいとも言われる。この判断は、「後世による」ということであるが、結局今の時点で、決断を下さざるを得ない。

この際は、今これをやらなければ将来的には決してもう着手する事はないだろうと思う。デジタル化後の国の補助事業も今のまま継続するとは思えない。

そういった観点から今議会に提案している。



大塚 廣 議員

大型建設事業への市内業者
参入率を高める努力を！

大塚 学校給食共同調理場の建設において、市内業者の参入が極めて少なかったと聞いているが、特に工事費のうち、どれだけの税金が竹田に落ちたかという視点から、その実態を伺いたい。

建設課長 入札は、市内業者を含む県内業者での指名競争入札を行なったが、残念ながら市内業者の元請受注はなかった。(但し、用地の整備工事と施設整備工事の舗装工事で市内業者2社が受注している)

市内業者の下請状況は、下請報告書によると、建築主体工事で3社、給排水衛生工事で1社が受注しているのみである。(それ以外に、仮設や生コン資材等で市内業者2社が受注している)市内業者の下請受注金額は建築主体工事関連では5社で3,575万円。これは契約金額(総工事費)の8%。給排水衛生設備事業の下請が1社で1,092万円。同16%となっている。

大塚 総額6億円近い事業で市内業者には5,000万円ほどしかまわらなかったことは残念の限り。なぜこうなったととらえているか。

建設課長 下請については市内業者を活用してもらうよう元請業者に依頼したが、下請参入の企業努力がどうであったかは確認していない。

大塚 次の大型建設工事としては、旧竹田商業高校(将来の竹田中学校)の改築だが、この工事では、ぜひとも市内業者に受注してもらうよう行政としても最大の配慮をしてもらいたい。



旧竹田商業高校(旧21年度夏開校予定の竹田中学校)

建設課長 今年度から一般競争入札導入を実施しているが、市内業者に配慮した地域要件を設定するなどの措置を講じた。



土居昌弘 議員

行政活動への市民参画
委員会や審議会の活用を

土居 竹田市役所は、行政内部で仕事を囲い込んでしまっている。そうではなく、市民の声に耳を傾けながら仕事をしていかなければならない。市にある委員会や審議会の意見を聴きながら、行政運営をしていくて欲しい。自治とは、役所のものではない。市民のものだ。

総務課長 各種審議会等の設置目的は、委員からの意見を頂き、市長が行う意思決定の判断材料とする。あるいは、市が行う政策に委員の意見を反映させること。積極的に耳を傾けていきたい。

総合計画の進み具合の評価

土居 市民の要望を把握し、本当に必要な事業は何かを確かめては。総合計画(将来計画)をもとに、市民アンケートをしている自治体もあるが。

企画情報課長 市民アンケート調査は今後、その方法や時期な

議員ふんとう記

第61回
大分県民体育大会
6月27日(金)~30日(月)
初の準優勝



賞状を受けとる足達監督

議員ソフトボール監督

足達 寛康

梅雨の合間を縫ってのわずかな練習で挑んだ県体。豊後高田市、宇佐市に勝利。準決勝の白桦市をも飲み込み、決勝戦の相手は国東市。練習不足と体力の限界?大健闘の末、堂々の準優勝。選手、応援の方々本当に御苦労様でした。

どについて検討していきたい。



災害対策本部に消防団を

土居 竹田市では、災害が予測される時や、実際に発生した時は、役所内に「災害対策本部」を設置し、被害を最小限にとどめる対策を練っている。この対策本部は、市職員のみ。竹田市民を守るという活動ならば、消防団の方にも参加を願ひ、現場の意見を聴きながら、対処していくのがよいと思うが。

総務課長 法や計画によると、消防団は消防本部の下に位置する。つまり、消防長又は消防署長の下で行動するもの。災害対策本部には消防長が入っていないので、消防団は基本的に呼ばない。ただし、連携が必要な時

は、参画をお願いしたい。
土居 竹田市の公共は、役所だけで守っているのではない。市民とともに、協働していこう!!



消防団の操法大会の様子



阿部重幸 議員

ケーブルネットワーク施設整備事業について

阿部 これまでの説明会の回数、出席人数とその割合は。
企画情報課長 昨年5月以降、

合計43回の説明会を開催。出席者数は1,837人で全世帯の17%、成人総数の8%で職員を含めると全世帯の20%程度。
阿部 5月21日に収支シミュレーションが提示されたが、70%加入で毎年1,600万円の補填をしていく。市民の理解を十分得ない中で、「議会の議決を得れば70%以上の加入促進に向け努力をする」という。できないときは、議会に責任を転嫁しようとしているようにしか受け取れない。



企画情報課長 今この事業をやらなければ今後の竹田市の発展

はないし、この時期を過ぎれば補助が継続される保証はないのでご理解をいただきたい。

阿部 今まで補助金ありきで取り組んだ事業が今では大きな財政負担となっている。この事業は時間をかけて慎重に進めるべきである。執行部と議会は自動車の両輪。新しい竹田市づくりを市民から託されていることは、揺るぎない事実。

大多数の市民が反対する中で、の補正予算の提出だが、将来を考えた時に非常に大きな負担が待っている。必要なことだとは理解できるが、なぜ今なのか。

このまま進めると市民無視、議会軽視そのものである。

総務企画部長 これまで事業の必要性や実施期間、概算事業費などを市民に説明してきた。事前に市の整備方針をお示し、意見も拝聴してきたところ。一連の作業工程における実施設計のタイムスケジュール上、6月の議会に提案となったもの。議会の議決について、構想、計画段階から配慮してきたつもり。

その他、副市長に就任後考えの変わった理由、新給食調理場の運営についても質問をした。

補欠選手の活躍!!

議員陸上監督

坂梨宏之進

長雨で練習ができず、さらに本命選手の故障で急きよ補欠選手の出場。彼持前の「しんけんまんけん」で見事な疾走、県体、議員陸上400mリレーは第7位。100mでは土居議員が4位というすばらしい成績を残した。



頑張りました



市長も応援にかけつけてくれました

市議会議長会表彰

第84回 全国市議会議長会定期総会において、古井久和議長が議員として25年間市政振興に当たられた功績により表彰されました。



暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどのあいさつ状を廃止させていただいております。
また本年度初盆を迎えられるご家庭への供物等につきましても失礼させていただきます。
新仏のご冥福をお祈りいたします。



竹田市議会

普通救急講習会 開催

7月25日(金)、社会福祉センターにて議員による普通救命講習会を開催しました。「チャレンジ!! おおいた国体」まであと2か月。万が一、けが等が発生した場合の救命処置の方法を学びました。



阿蘇市・竹田市両建設常任委員会の第2回交流研修会が開催される。

7月10日(木)、阿蘇いこいの村にて地域高規格道路「中九州横断道路」の早期実現を目指す阿蘇市・竹田市両建設常任委員会の交流研修会が開催された。



あとがき

▼他人とうまくやって行く為の必要不可欠な要素、それは他人を深く理解する事と、思う。理解のないところには、人と人との本当の交流はあり得ない。理解がなくなつたとき、無関心・不愉快・争い・離別が始まる時と言える。

森 哲秀

▼県体での議員400mリレーは第7位と健闘した。本命の第一走者が練習中に怪我をしたため急ぎよ走ることになった。自分自身では納得の走りだったが、スタンドの声援はサイドブレーキをはずせだった。なしか。

佐田 啓二

▼身体中に経皮鎮痛消炎剤(コウヤクのこと)を貼りめぐらしてこの原稿を書いている。昨日まで県体で議員ソフトの部に出場。30年前の華麗?な守備は今では見る影もなく、前後左右一歩ずつの守備範囲。

日小田秀之

▼無農薬野菜など作れないと思ひこんでいたが、作ってみると簡単に作れる。防虫ネット及び完熟堆肥は「スゴイ」。
貴方も安全安心な野菜作りに挑戦しませんか。

和田 幸生